

第17回京都ヒストリカ国際映画祭



会 期：2025年12月2日（火）～7日（日）
 会 場：京都文化博物館 フィルムシアター、6F和室／オンライン
 主 催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会
 （京都府／京都文化博物館／東映(株)京都撮影所／(株)松竹撮影所／
 (株)東映京都スタジオ／巖本金属(株)／(株)ディレクターズ・ユニブ／
 立命館大学／(株)Skeleton Crew Studio)／
 (一社) 京都ヒストリカ
 共 催：KYOTO CMEX 実行委員会
 後 援：(一社) 日本映画製作者連盟／(一社) 外国映画輸入配給協会／
 (一社) 日本映画テレビ技術協会／(株)エフエム京都
 対 象：一般
 公式サイト：<https://historica-kyoto.com/>

総来場者数（参加数）：2,201人

■開催内容

京都ヒストリカ国際映画祭、通称「HISTORICA」・「KHIFF」は、ジャンル映画祭として世界でただひとつ「歴史」をテーマにした国際映画祭である。今年度のヒストリカの公式プログラムは、太秦100年と称して、4Kデジタル修復版『雄呂血』(活弁・伴奏付き)に始まり、ジャパンプレミアを含む海外新作を4作品、日本作品の新旧6作品を上映。他にもヴェネチア国際映画祭・ボローニャ復元映画祭や京都映画企画市と連携したプログラムなど、全16作品を上映した。イタリア、ポルトガルなど海外からのゲストを含め16名のゲストが来場した。

一昨年からスタートした週末の2日間に開催するカンファレンスイベント「ヒストリカお座敷」は、13セッション24名の登壇者が来場した。展示エリアではVR映画の体験や片渕須直監督の制作中の新作の展示を実施。引き続き好評を得ているYouTube Liveを活用したオンライントーク企画「夜のヒストリカ」も継続して配信した。

■2025年度の新規取り組みとその成果・特色など

新しい取り組みとして、京都府と京都市が連携し、12月を「京都映画月間」として打ち出し、京都ヒストリカ国際映画祭や京都市が主催している京都映画賞、その他に京まちなか映画祭、京都国際学生映画祭が共同広報を展開した。また「ヒストリカお座敷」では、京都映画賞が撮影監督の石原興さんを招いたトークイベント、京都国際学生映画祭が山口淳太監督を招いたトークイベントを実施するなど、企画面での連携も図ることができた。

